



ベトナム・ASEAN・バランスファンド

愛称: *V-Plus*

追加型投信/海外/資産複合

作成基準日:2010年6月30日

※当資料の百分率は、原則として表示桁数未満を四捨五入していますので、合計の数値とは必ずしも一致しません。

商品概要

設定日	2007年8月28日
信託期間	2007年8月28日から 2017年8月28日まで
決算日	8月28日 (休業日の場合は翌営業日)
信託報酬率	年 1.89% (税抜 1.80%)
基準価額	7,836円
純資産総額	4,665百万円

期間別騰落率

過去1ヵ月	-3.7%
過去3ヵ月	-6.2%
過去6ヵ月	-2.3%
過去1年間	-1.0%
過去3年間	-
設定来	-21.6%

※税引前分配金を全額再投資したものと
して計算しています。

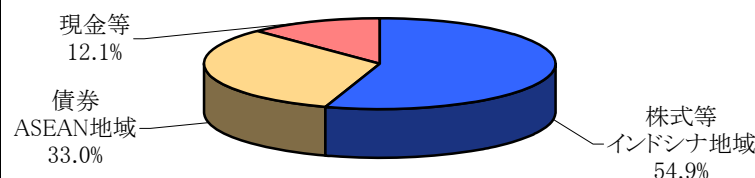
資産配分

インドシナ地域株式 マザーファンド	62.5%
ASEAN地域債券 マザーファンド	35.0%
現金等	2.5%

分配実績 (1万口当たり、税引前)

第1期	2008年8月28日	0円
第2期	2009年8月28日	0円
第3期	2010年8月30日	-
第4期	2011年8月29日	-
設定来分配金合計		0円

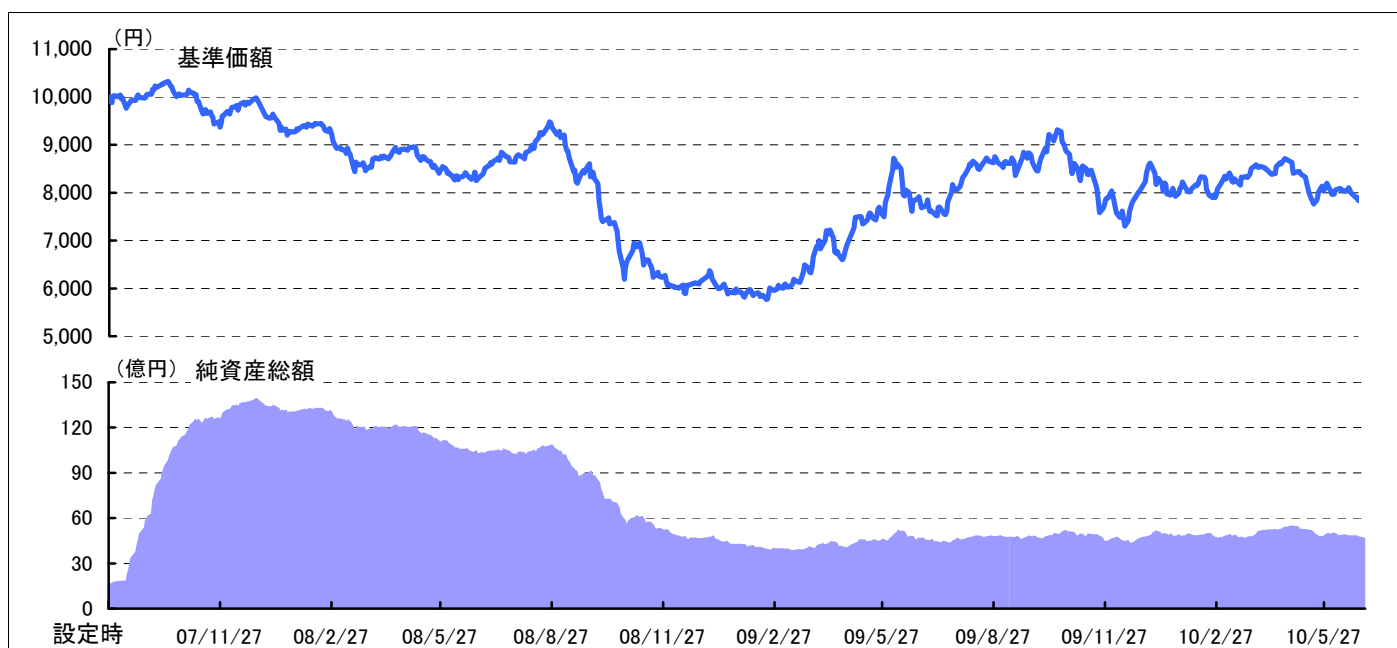
実質的な組入状況(月末現在)



※比率は、ベビーファンドの実質組入比率です。
※株式等には投資信託証券および株価連動証券を含みます。
※現金等には、マザーファンドが保有するコールローンおよび各国通貨建の外貨預金等を含みます。

基準価額と純資産総額の推移(設定来:日次)

基準価額の推移は税引前分配金を全額再投資したものと計算しているため、実際の受益者利回りとは異なります。なお、基準価額は信託報酬控除後です。



※運用実績および分配実績は過去のものであり、将来を予測・保証するものではありません。

※本資料をご覧くださいにあたっては、11ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時~午後5時)
インターネットホームページ <http://www.tdasst.co.jp/>

インドシナ地域株式マザーファンドの運用状況

*当ページは、インドシナ地域株式マザーファンドの投資顧問会社であるDBSアセットマネジメントからのデータを一部に使用しています。

月間騰落率

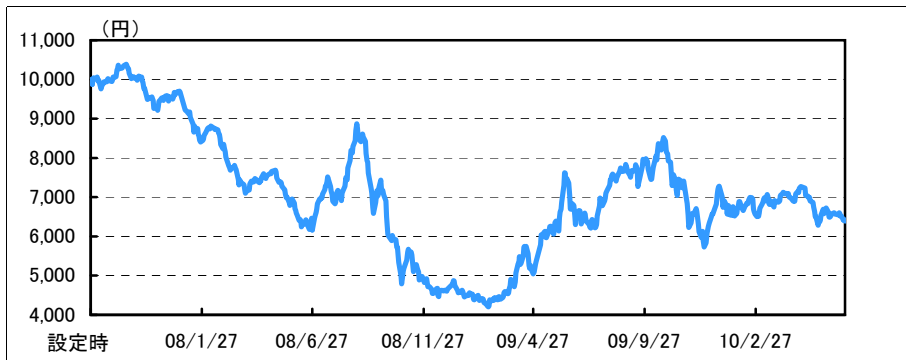
過去1カ月 -4.5%

資産配分

株式等	87.8%
現金等	12.2%
組入銘柄数	30銘柄

*株式等には投資信託証券および株価連動証券を含みます。

基準価額の推移(設定来:日次)



株式等の業種別組入比率

業種	組入比率
素材	2.8%
消費者サービス	0.3%
株価連動証券	84.7%
投資信託証券	-
現金等	12.2%

*株価連動証券は、金融機関等が発行し、その価格が特定のベトナムの株式に連動する証券です。

*各組入比率は、当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

株式等の国・地域別組入比率

国	組入比率
アメリカ	69.4%
ジャージー	8.1%
オランダ	7.2%
バミューダ諸島	2.8%
香港	0.3%

*国・地域は、発行体の法人登録国です。
*株式等には投資信託証券および株価連動証券を含みます。

通貨別組入比率

通貨	組入比率
株式等	87.8%
アメリカドル	84.7%
香港ドル	3.1%
現金等	12.2%
外貨預金	
アメリカドル	5.8%
シンガポールドル	2.0%
香港ドル	0.7%
その他	3.6%

*現金等のその他は、未払金等が多い場合はマイナスになることがあります。

組入上位10銘柄の概要

銘柄名	業種	比率	概要
ベトナム乳業(ビナムミルク)	株価連動証券	11.4%	ベトナム最大手の乳製品・食品製造会社で、主力製品にはコンデンスミルク、フレッシュミルク、粉ミルク、ヨーグルト飲料などがあります。
FPTコーポレーション	株価連動証券	9.4%	ベトナム最大手のIT通信サービス提供会社で、携帯電話の販売、インターネット接続サービスを提供しています。
ビンチャン建設投資	株価連動証券	7.4%	ベトナムで主として商業用や住宅などの不動産開発を行っている会社です。
ホアファットグループ	株価連動証券	5.7%	ベトナムの多角経営会社で、鉄鋼のほか、電化製品や家具などの製造を行っています。
ホーチミン市証券	株価連動証券	5.0%	証券会社で、証券仲介、投資銀行・投資顧問サービスや、金融市場のリーサーチなど、投資、金融サービスを提供しています。
ペトロベトナム化学肥料	株価連動証券	4.7%	ベトナムで主として肥料製造を行うほか、化学薬品の製造・販売なども手掛ける会社です。
ペトロベトナムドリリング	株価連動証券	4.3%	ベトナム最大手の天然資源会社で、油田・ガス田の掘削・採掘、油井・ガス井の設計・建設・運営を手掛けています。
タンタオ工業団地	株価連動証券	4.3%	ベトナムのタンタオ工業団地で住宅・工業団地の設計・建設・運営を行う、不動産デベロッパーです。
バオ・ベト・ホールディングス	株価連動証券	3.7%	ベトナムの保険会社で、生命保険・損害保険の両方のサービスを提供しています。
ソンダ工業団地・都市投資開発	株価連動証券	3.5%	建設会社で、住宅・工業用ビル建設、ホテル・レストラン経営および機械の輸出入に従事しています。

*比率はインドシナ地域株式マザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。なお、同一企業の異なる発行体による株価連動証券については、合算した比率になります。

*運用実績および分配実績は過去のものであり、将来を予測・保証するものではありません。

*本資料をご覧いただくにあたっては、11ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)
インターネットホームページ <http://www.tdasasset.co.jp/>

ASEAN地域債券マザーファンドの運用状況

*3~4ページは、ASEAN地域債券マザーファンドの投資顧問会社であるDBSアセットマネジメントからのデータを一部に使用しています。

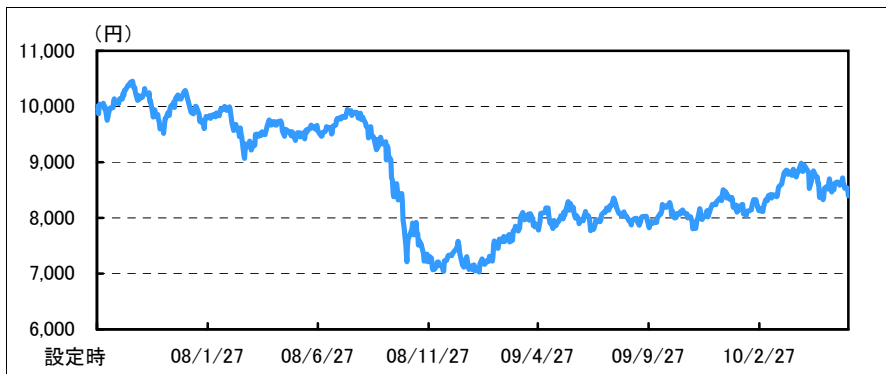
月間騰落率

過去1カ月 -2.0%

組入状況

銘柄数	11銘柄
債券	94.2%
国債	88.2%
特殊債	5.9%
現金等	5.8%
平均格付	BBB+

基準価額の推移(設定来:日次)



※平均格付は、S&P格付およびMoody's格付のうち下位格付を用いて加重平均で算出したものです。

※国債には中央銀行が発行する債券を含みます。

債券の国別組入比率

国名	本国通貨建	外貨建	合計
インドネシア	19.5%	15.3%	34.8%
マレーシア	32.5%	—	32.5%
シンガポール	20.9%	—	20.9%
フィリピン	—	5.9%	5.9%
国計	72.9%	21.3%	94.2%

※国名は、発行体の所在国です。

通貨別組入比率

通貨	本国通貨建	外貨建	合計	
債券	マレーシアリング	32.5%	—	32.5%
	アメリカドル	—	21.3%	21.3%
	シンガポールドル	20.9%	—	20.9%
	インドネシアルピア	19.5%	—	19.5%
	現金等	—	—	5.8%
外貨預金	シンガポールドル	—	—	1.3%
	アメリカドル	—	—	0.4%
	その他	—	—	4.2%

※本国通貨建は通貨と同一の国の発行体が発行したもので、外貨建は通貨と異なる国の発行体が当該通貨で発行したものです。
 ※現金等のその他は、未払金等が多い場合はマイナスになることがあります。

※各組入比率は、当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

組入銘柄の概要(組入全11銘柄)

銘柄名	種類	国	クーポン	最終利回り	比率	概要
		通貨	償還日	格付		
SINGAPORE GOV'T	国債	シンガポール	3.625%	0.81%	15.0%	シンガポール政府が発行する債券です。
		シンガポールドル	2014/7/1	AAA		
INDONESIA RECAP	国債	インドネシア	13.150%	6.39%	10.0%	インドネシア政府が発行する債券です。
		インドネシアルピア	2012/1/15	BB+		
INDONESIA GOVERNMENT	国債	インドネシア	10.000%	6.19%	9.5%	インドネシア政府が発行する債券です。
		インドネシアルピア	2011/10/15	BB		
INDONESIA (REP)	国債	インドネシア	6.750%	3.58%	9.0%	インドネシア政府が発行する米ドル建債券です。
		アメリカドル	2014/3/10	BB		
MALAYSIAN GOV'T	国債	マレーシア	3.756%	2.73%	8.4%	マレーシア政府が発行する債券です。
		マレーシアリング	2011/4/28	A-		

< 4ページに続く >

※比率はASEAN地域債券マザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。 ※国債には中央銀行が発行する債券を含みます。
 ※格付は、S&P格付およびMoody's格付のうち下位格付を用いています。

※運用実績および分配実績は過去のものであり、将来を予測・保証するものではありません。

※本資料をご覧いただくにあたっては、11ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時~午後5時)
 インターネットホームページ <http://www.tdasset.co.jp/>

＜ 3ページの続き ＞						
銘柄名	種類	国	クーポン	最終利回り	比率	概要
		通貨	償還日	格付		
MALAYSIAN GOV'T	国債	マレーシア	3.461%	3.27%	8.3%	マレーシア政府が発行する債券です。
		マレーシアリング	2013/7/31	A-		
MALAYSIA T-BILL	国債	マレーシア	0.000%	3.18%	8.3%	マレーシア政府が発行する債券です。
		マレーシアリング	2010/7/16	A-		
MALAYSIAN GOV'T	国債	マレーシア	3.741%	3.54%	7.5%	マレーシア政府が発行する債券です。
		マレーシアリング	2015/2/27	A-		
REPUBLIC OF INDONESIA	国債	インドネシア	7.500%	4.14%	6.3%	インドネシア政府が発行する米ドル建債券です。
		アメリカドル	2016/1/15	BB		
SINGAPORE GOV'T	国債	シンガポール	2.625%	0.50%	6.0%	シンガポール政府が発行する債券です。
		シンガポールドドル	2012/4/1	AAA		
PSALM	特殊債	フィリピン	7.390%	6.37%	5.9%	フィリピン政府保証が付与された国営企業Power Sector Assets & Liabilities Managementが発行する債券です。
		アメリカドル	2024/12/2	BB-		

※比率はASEAN地域債券マザーファンドの純資産総額に対する評価額の比率。

※格付は、S&P格付およびMoody's格付のうち下位格付を用いています。

※国債には中央銀行が発行する債券を含みます。

※変動利付債のクーポンは、作成基準日(の経過利息)における利率です。

市況概況および運用コメント

市況概況

【インドシナ地域株式】

6月の米国株式市場は、月初、油田掘削事業への規制強化懸念や、市場予想を大幅に下回ったマクロ指標を嫌気し下落しました。しかしその後、中国や米国のマクロ指標を好感したことや、スペインが短期国債入札を無難にこなしたことなどから株価は上昇しました。月末にかけては、景気後退懸念や油田掘削事業の先行不透明感が増したことなどから、株価は軟調に推移しました。また、中国の景気先行指数が下方修正されたことも悪材料となりました。欧州株式市場は、月初、ハンガリーの財政懸念などを嫌気し下落しましたが、景気回復期待やユーロ安を材料に輸出関連株が選好されたことに加え、ECB(欧州中央銀行)による流動性供給延長などの政策決定を好感し、株価は反発しました。月末にかけては、マクロ指標で景気回復の鈍化が示されたことや、欧州の信用リスク懸念が再燃したことなどもあり、株価は軟調に推移しました。ベトナム株式市場は、月初、5月末の株価上昇を受けた利益確定売りが警戒される中、米民間雇用の不振を背景に米国経済の自律回復期待が後退したことや、欧州の債務危機問題が再燃したことなどから、株価は急落する展開となりました。しかしその後は、海外投資家を中心とした押し目買いが入り、徐々に値を戻す展開となりました。この間、ベトナム政府や世界銀行から相次いで発表された、同国の強気な2010年実質GDP成長率の見通しも、相場の支援材料となりました。スペイン短期国債の入札に堅調な需要があり欧州の債務不安が後退し、世界的に株価が堅調な中、4-6月期決算に期待が高まったことや、ベトナム政府が再び商業銀行に貸出金利の引下げを促し始めたことなどから、株価は底堅く推移しました。しかし月末にかけては、欧米の株価が軟調に推移したことから、利益確定売りが優勢となり、株価は下落しました。

この様な市場環境の下、主要株価指数であるVN指数(現地通貨建)は月間で▲0.1%とほぼ横ばいとなりました。主要構成銘柄では、ベトナム乳業、FPTコーポレーションなどがアウトパフォームしました。一方で、サイゴン証券、ホーチミン市証券、ビンチャン建設投資などがアンダーパフォームする展開となりました。

【ASEAN地域債券】

6月にユーロ圏周辺国における債務危機や景気回復鈍化に対する懸念等がサポート要因となり、ほとんどのASEAN債券市場の長期国債は上昇しました。中でもインドネシアは、ムーディーズが格付け見通しを上げた他、インドネシア中銀がこれまで償還期日が1ヵ月、3ヵ月および6ヵ月に限定されていた債券を9ヵ月および12ヵ月債も発行し、期間の幅を広げたこともサポート要因となり、大きく上昇しました。

為替については、6月に中国が人民元に対する新たな方針を採用したことにより、当初、ASEAN通貨は米ドルに対して上昇しました。しかし、世界的なリスク回避志向が優勢となる状況が続いたことから、上昇は持続的なものとならず、米ドルに対するASEAN通貨のパフォーマンスは、まちまちとなり月を終えました。このような環境下で、円高ドル安が進んだことを受けて、ASEAN通貨に対して円が上昇する結果となりました。

※コメントは、マザーファンドの投資顧問会社であるDBSアセットマネジメントから入手したデータを使用しています。

※本資料をご覧いただくにあたっては、11ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)
インターネットホームページ <http://www.tdasst.co.jp/>

当ファンド(ベトナム・ASEAN・バランスファンド)の運用コメント

【運用コメント】

基準価額は月間で3.7%の下落となりました。また、月中はインドシナ地域株式マザーファンドの組入比率を約63%、ASEAN地域債券マザーファンドの組入比率を約35%で推移させました。各マザーファンドの運用状況は以下の通りです。

インドシナ地域株式マザーファンドの運用コメント

【運用概況】

6月末時点での組入銘柄数は30銘柄、株式等組入比率は87.8%としました。株価連動証券を含む業種別組入比率上位の業種は、素材17.3%、食品・飲料・タバコ13.1%、不動産10.9%、各種金融10.6%となっています。なお、キャッシュ比率は、前月末とほぼ同水準を維持しました。

【今後の運用方針】

短期的には、欧州のソブリンリスクに加え、中国の金融引締めへの警戒感などを背景とした資金フローや投資家センチメントが、ベトナム株式市場に悪影響を与える展開が予想されます。その一方で、ベトナム企業の第2四半期の業績に対する期待は高く、企業業績が相場を牽引することも考えられます。インフレリスクに関しては、これまでの政府の取組みを受け、中期的には安定的に推移することが見込まれ、そのことが、株式市場にポジティブな影響を与えることと予想します。ベトナム株式市場への長期的な見通しは、若年層の人口構成比が高いことを背景とした国内消費期待や低コスト環境の他、国営企業の民営化期待などから、ベトナムが長期的に高い経済成長を達成出来ると考えており、変更はありません。今後の運用方針としては、負債が少なく価格決定力があり、コーポレートガバナンスの充実した割安な優良銘柄を見出し、投資を行う方針です。

ASEAN地域債券マザーファンドの運用コメント

【運用概況】

6月末時点での組入銘柄数は11銘柄、債券組入比率は94.2%としました。主として、各国の現地通貨建および米ドル、ユーロなど外貨建の債券を投資対象としており、組入比率上位の国は、インドネシア34.8%、マレーシア32.5%、シンガポール20.9%となっています。当ファンドの6月のパフォーマンスは、主にASEAN通貨に対して円高が進んだことにより、前月比▲2.0%となりました。

【今後の運用方針】

当ファンドでは、ASEAN地域の景気に対して前向きな見方を継続します。ASEAN地域において景気が二番底に陥る見込みは低いと考えていますが、今後の景気動向については、ユーロ圏の債務問題に対する懸念からボラティリティの高い状況を予想しています。7月に予定されている欧州における銀行ストレステストの結果の公表や今後起こりうる欧州のソブリン格付けの引下げが市場の混乱要因に加わることが予想されるものの、当ファンドでは、欧州の債務危機はリーマンブラザーズの破綻を契機とする2008年の信用危機とは異なり、ほとんどの場合において抑制できるものであると考えます。

欧州での緊縮財政政策を受けた市場の不確実性の高まりを受けて、ほとんどのアジアの中央銀行は積極的な金融引締めを見送ると予想します。その様な環境下で、ファンダメンタルズが良好でインフレが抑制されているインドネシア国債を選好します。また、海外投資家からの弾力的な資金流入、インドネシアルピアのボラティリティの低下およびムーディーズによる見通しの引上げも、依然として高い金利水準にあるインドネシア国債に対するサポート要因となると予想します。

※文中の投資行動は、個別銘柄の売買等いかなる投資行動を推奨するものではありません。

※コメントは、マザーファンドの投資顧問会社であるDBSアセットマネジメントから入手したデータを使用しています。

※本資料をご覧いただくにあたっては、11ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)
インターネットホームページ <http://www.tdasst.co.jp/>

<ご参考> 主な投資対象国の株式指数と為替レート

※表記のデータは過去のものであり、将来を予測・保証するものではありません。

株価指数 [現地月末基準]

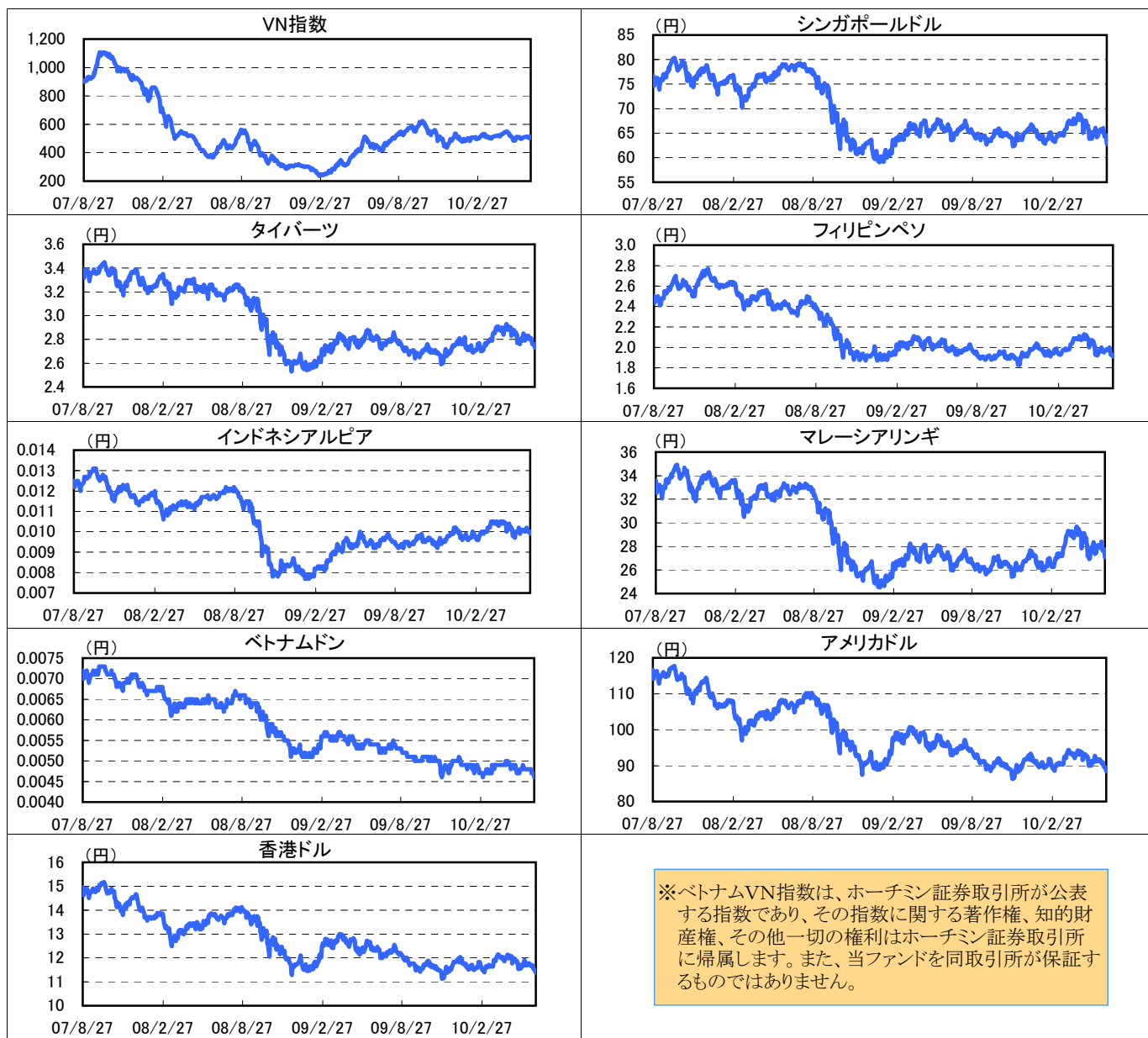
国	株価指数	月間騰落率
ベトナム	VN指数	-0.1%



※株価指数 出所: Bloomberg
 ※対円為替レートの騰落率のプラスは円安、マイナスは円高を示します。
 ※フィリピンペソ、ベトナムドンは、シティバンク銀行の公表レート(TTM)、その他の通貨は、三菱東京UFJ銀行の公表レート(TTM)です。

対円為替レート

通貨	月間騰落率
シンガポールドル	-3.4%
タイバーツ	-2.8%
フィリピンペソ	-3.0%
インドネシアルピア	-1.0%
マレーシアリング	-3.3%
ベトナムドン	-4.2%
アメリカドル	-3.1%
香港ドル	-3.0%



※ベトナムVN指数は、ホーチミン証券取引所が公表する指数であり、その指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はホーチミン証券取引所に帰属します。また、当ファンドを同取引所が保証するものではありません。

※本資料をご覧いただくにあたっては、11ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時~午後5時)
 インターネットホームページ <http://www.tdasset.co.jp/>

当ファンドの特徴

ファンドの目的および基本的性格

当ファンドは、「インドシナ地域株式マザーファンド」および「ASEAN地域債券マザーファンド」の各受益証券を主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

ファンドの特色

1. 地政学的・人口構造などの優位性を活かし、高い経済成長を続けているベトナムの株式※および経済規模が拡大しているASEAN地域の債券を主要投資対象とします。

※将来的にはカンボジア、ラオス、ミャンマーの株式に投資を行う可能性があります。
当ファンドでは、ベトナム、カンボジア、ラオス、ミャンマーを総称して「インドシナ地域」といいます。

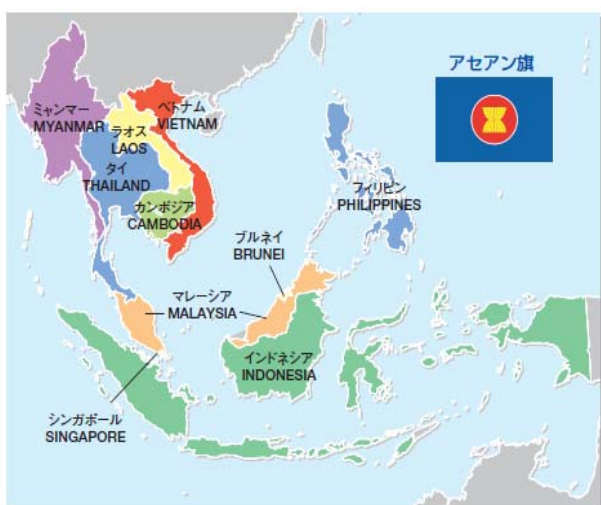
2. 株式と債券の組入比率は、ベトナム株式市場の拡大にあわせて変更します。

※株式については、主としてベトナムの金融商品取引所に上場・登録等されている銘柄に投資します。ただし、事業展開や投資活動がベトナムを中心に行われている企業であれば、他の株式市場に上場している銘柄にも投資を行います。また、インドシナ地域の株式に連動する証書、債券等にも投資を行います。

3. マザーファンドの運用の指図に関する権限の一部をDBSアセットマネジメントに委託します。

4. 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いませんので、為替変動の影響を受けます。

投資対象国 ～ASEAN地域～



ASEAN(東南アジア諸国連合)概要

1967年にインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5か国外相がバンコクに参集し、ASEAN設立を宣言する「バンコク宣言」が採択され、ASEANが発足。

その後順次加盟国を増やし、1999年に第6回ASEAN公式首脳会議において、第10番目の国としてカンボジアの加盟が決定したことで東南アジア全域を包括する「ASEAN10」が実現した。

ASEANの目的

1. 域内における経済成長、社会・文化的発展の促進
2. 域内における政治・経済的安定の確保
3. 域内諸問題の解決

※本資料をご覧いただくにあたっては、11ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)
インターネットホームページ <http://www.tdasset.co.jp/>

当ファンドの投資リスクについて

当ファンドはマザーファンドを通じての投資を含めて、株式および債券などの値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されるものではなく、損失が生じる恐れがあります。投資信託財産に生じた利益および損失は全て投資家に帰属します。

当ファンドの基準価額に影響を与える主な投資リスク

債券投資リスク

当ファンド(マザーファンドを通じての投資を含めます。以下「流動性リスク」を除き同じです。)は、ASEAN地域の国債に投資します。投資対象国債の中には、格付がBB格以下の投機的格付債があります。投機的格付債は、より上位の格付けの国債に比べて債務不履行(デフォルト)になるリスクが相対的に高いと考えられ、格付けが低いほど債務不履行の可能性が高いことを意味します。さらに発行国の財務状況の悪化、社会情勢の変化等により格付けが低下した場合は、債券価格が大きく下落することがあります。公社債市場が下落した場合、または当ファンドが保有する公社債の価格下落等の場合には基準価額が値下がりし、その結果、投資元本に欠損を生じる恐れがあります。

株価変動リスク

当ファンドは、インドシナ地域の株式に投資します(株式に連動する証書、債券等に投資する場合を含みます。)。一般に、株式の価格は大きく変動します。株式市場が下落した場合、または当ファンドが保有する株式の価格下落等の場合には基準価額が値下がりし、その結果、投資元本に欠損を生じる恐れがあります。

カントリーリスク

当ファンドは、主にインドシナ地域の株式およびASEAN地域の債券に投資します。インドシナ地域およびASEAN地域における金融商品取引所や証券市場、会計基準および法制度等は先進国と異なることがあります。また、政治経済情勢、通貨規制、資本規制等の要因により流動性はより低くなる可能性があります。この場合には基準価額が値下がりし、その結果、投資元本に欠損を生じる恐れがあります。

為替変動リスク

当ファンドは、外貨建資産に投資しますので、為替変動リスクを伴います。当ファンドは原則として対円での為替ヘッジを行いませんので通貨の価格変動によって当該外貨建資産の円建の評価額は変動します。一般に外貨建資産の価格は、円高になれば下落します。外貨建資産の価格が下落した場合、基準価額が値下がりし、投資元本に欠損を生じる恐れがあります。

【次のページに続きます。】

※本資料をご覧いただくにあたっては、11ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)
インターネットホームページ <http://www.tdasset.co.jp/>

信用リスク

当ファンドは、株式、公社債等の有価証券および金融商品に投資します。一般に、有価証券の発行者、または金融商品の運用先に経営不振もしくは債務不履行等が生じた場合、有価証券または金融商品等の価格は下落し、もしくは価値が無くなる場合があります。この場合には基準価額が値下がりし、その結果、投資元本に欠損を生じる恐れがあります。

金利変動リスク

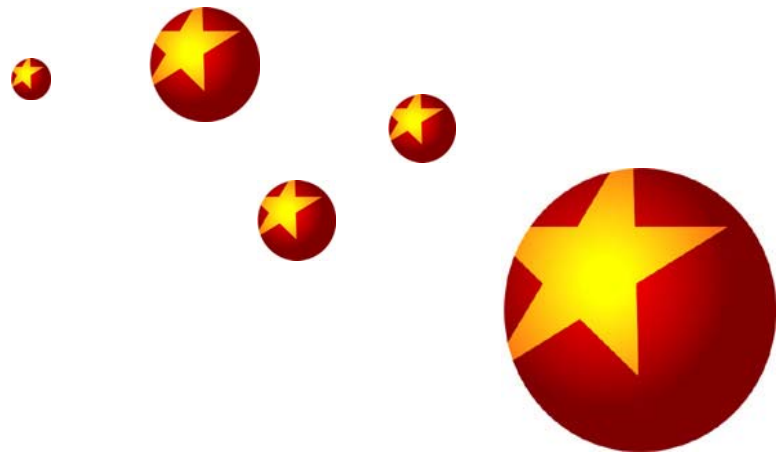
当ファンドは、公社債等に投資します。一般に、金利が上昇すると公社債等の価格は下落します。この場合には基準価額が値下がりし、その結果、投資元本に欠損を生じる恐れがあります。

流動性リスク

解約による当ファンドの資金流出に対応し、解約資金を手当てするために、通常よりも著しく低い価格での保有有価証券の売却を余儀なくされる可能性があります。当ファンドの解約による資金流出のみならず、マザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドの解約による資金流出に対応し、その解約資金を手当てするために、マザーファンドにおいて通常よりも著しく低い価格での保有有価証券の売却を余儀なくされる可能性もあります。また、市場の混乱等のために、市場において取引できなかつたり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされる可能性があります。これらの場合には、基準価額が値下がりし、その結果、投資元本に欠損を生じる恐れがあります。

※上記のほか、投資家が当ファンドの取得時に支払う所定の申込手数料、一部解約時に控除される信託財産留保額、当ファンドの投資信託財産から支弁する信託報酬および証券取引に伴う手数料等の管理費用も、投資家が支払った投資元本に欠損を生じる要因となります。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。



※本資料をご覧いただくにあたっては、11ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)
インターネットホームページ <http://www.tdasset.co.jp/>

当ファンドに係る手数料等について

【お客様には以下の費用をご負担いただきます。】

◆お申込時に直接ご負担いただく費用

- ・ 申込手数料 お申込価額に3.15%(税抜3.00%)以内で販売会社が個別に定める率を乗じて得た額

◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

- ・ 信託報酬 投資信託財産の純資産総額に年1.89%(税抜1.80%)の率を乗じて得た額
- ・ 監査報酬 投資信託財産の純資産総額に年0.0084%(税抜0.008%)の率を乗じて得た額
- ・ その他 有価証券の保管費用、売買時の売買委託手数料等がかかります。その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

◆換金時に直接ご負担いただく費用

- ・ 信託財産留保額 換金申込日の翌営業日の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額
- ・ 換金手数料 ありません。

当該手数料等の合計額については、投資家が当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をお読みください。

お申込メモ

ファンド名	ベトナム・ASEAN・バランスファンド(愛称:V-Plus)
商品分類	追加型投信/海外/資産複合
投資対象	インドシナ地域株式マザーファンド受益証券およびASEAN地域債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
設定日	2007年8月28日
信託期間	2007年8月28日から2017年8月28日まで
申込コース	一般コース/自動継続投資コース お申込コースは販売会社により異なります。
申込単位	お申込単位は販売会社により異なります。
申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
買付・換金の申込受付日	原則として、毎営業日お申込できます。ただし、シンガポール、ホーチミンおよびハノイの金融商品取引所の休業日を除きます。
換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額(当該基準価額の0.5%)を控除した額。ご換金代金のお支払は、原則としてお申込日から起算して7営業日目以降となります。
決算及び収益分配金	毎年8月28日(該当日が休業日の場合は翌営業日)に決算を行います。毎決算時に基準価額水準、市況環境等を勘案し、分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。

※本資料をご覧いただくにあたっては、11ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)
インターネットホームページ <http://www.tdasset.co.jp/>

当ファンドの関係法人の概況

〔委託者〕 ◇投資信託財産の運用指図等を行います。
T&Dアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第357号
加入協会／(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会

〔投資顧問会社〕 ◇マザーファンドの投資部分において運用の指図を行います。
DBSアセットマネジメント(DBS Asset Management Ltd)

〔受託者〕 ◇投資信託財産の保管・管理業務等を行います。
中央三井アセット信託銀行株式会社
(再信託受託銀行:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)

〔販売会社〕 ◇受益権の募集・販売の取扱い、一部解約事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払い等を行います。
※次頁に当ファンドの各販売会社の名称等を記載しています。

ご留意いただきたい事項

- 本資料はT&Dアセットマネジメントが作成した販売用資料です。本資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等により作成したものです。その正確性・完全性を保証するものではありません。また、本資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等の内容は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社の判断を反映したものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託はリスクを含む商品であり、株式及び公社債等値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これら運用による損益は全て投資家に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、投資信託を登録金融機関でご購入いただいた場合、投資者保護基金による支払対象ではありません。
- 取得のお申込にあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断いただきますようお願いいたします。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社にてご入手いただけます。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)
インターネットホームページ <http://www.tdasset.co.jp/>

販売会社の名称等

2010年7月1日現在

販売会社		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券 投資顧問業協会	(社)金融先物 取引業協会
コスモ証券株式会社	金融商品 取引業者	近畿財務局長(金商) 第15号	○	○	○
中銀証券株式会社	金融商品 取引業者	中国財務局長(金商) 第6号	○		
東海東京証券株式会社	金融商品 取引業者	東海財務局長(金商) 第140号	○		○
西日本シティTT証券株式会社	金融商品 取引業者	福岡財務支局長(金 商) 第75号	○		
浜銀TT証券株式会社	金融商品 取引業者	関東財務局長(金商) 第1977号	○		
ワイエム証券株式会社	金融商品 取引業者	中国財務局長(金商) 第8号	○		

※加入協会に○印を記載しています。

※本資料をご覧いただくにあたっては、11ページの「ご留意いただきたい事項」を必ずご確認ください。

■ 設定・運用は

T&Dアセットマネジメント

電話番号 03-3434-5544 (受付時間は営業日の午前9時～午後5時)
インターネットホームページ <http://www.tdasset.co.jp/>